

地域から戦争を伝える可能性と課題

—まちが軍の記憶を呼び覚ますとき—

戦争の記憶は、時が経つにつれ「風化」するとは限りません。観光まちづくりなどとも関わりながら、土地に眠る資料や遺跡が呼び覚まされ、博物館が建つことも起きています。特に軍隊と密接な関係にあった地域を中心に、各地の事例をみてみましょう。



予科練平和記念館
(茨城県)

そして、体験者がいなくなってしまう時代を目前にして、私たちが地域から、いかに過去に向き合い、未来へ伝えていくことができるか、一緒に考えていきましょう。



第一次大戦の塹壕を再現した野外展示
(ベルギー)

日時

2024年 3月 17日 日 13:30～15:00

会場

放送大学福井学習センター 講義室1
福井市手寄1丁目4-1(アオッサ7階)

参加無料

定員

30名 (2月17日(土)午前10時から申込受付開始)

講師

東京大学未来ビジョン研究センター特任助教

清水 亮 氏

コーディネータ

放送大学福井学習センター客員教員
福井工業高等専門学校助教

木村 美幸 氏

お申込み
お問合せ

下記のURL、または右の二次元コードから、申込書に必要事項をご記入の上、送信してください。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukui/about/open.html>

《電話》0776-22-6361 (放送大学福井学習センター)

